



# 東海中新聞

NO. 386  
令和6年1月号

## 2学期、数多くの行事を終え 3学期スタート!



### 理科で学ぶ

### 知識の価値

校務主任補佐

令和六年一月一日十六時十分、最大震度七、マグニチュード七・六の能登半島地震が発生しました。大津波警報も出され、新年の気分が全て吹き飛ばような年の始まりとなりました。多くの方が被害に遭われる中、SNSに目を向けると、多くの流言がありました。

「東日本の震災以来、大した津波はきていないから今回も大丈夫」というような正常性バイアスによる誤情報。

「地震の波形を見ると、P波がないから人工地震ではないか」というような陰謀論など、様々な根拠がない言葉を目にしました。

中学校理科で、地震について学ぶのは一年生です。これは、ほとんどの生徒が、地震について科学的に学習する最後の機会になっています(多くの高校では、地震・気象・天文のような地学分野の授業がありません)。地震が起きると、今回のように多くの誤情報飛び交いますが、正しいかどうかを判断する基準は、中学校での学習事項のみです。

新年最初の授業では、今回の地震の

憶測や流言について取り上げました。「今回は、震度七の人口地震だったが、次は震度十の地震が来る」と紹介したとき、三年生の生徒は「あり得ない。震度は最大が七なのに」と笑ってくれました。また、「P波がないから」という流言に關しても、チームで話し合い、地震波形に初期微動(P波)が表れない場合についてきちんと分かっています。日本に住む以上、地震からは逃れられません。この先やってくる地震の被害を軽減し、飛び交う流言を退けることができる知識をきちんと身に付けている東海中学校三年生の生徒の様子に安心しました。

今、三年生の理科の授業では天文分野を学んでいます。地震同様、多くの生徒にとって今回の授業が人生最後の天文分野の授業になります。星の動き、月の満ち欠けなど、公立高校の入試でよく出題される内容ですが、知識の価値は入試のためだけではありません。将来、大人になって、家族や恋人と星を見たときに、「あの星は：」と分かるのも人生にとって、素敵なことだと思います。

理科を学ぶことで、将来の自分の身を守ったり、自分自身の生活を豊かにしたりすることができます。これからも生徒にとって、価値のある理科の授業を心がけていきます。

# 東海中PTAだより

東海中PTA  
会報委員  
第22号

## マラソン大会

### 走り抜け!!

三年生 保護者

ピストルの音が鳴り暫くすると沿道で応援する保護者の前を桃緑赤紫のはちまきをつけた生徒達が走り抜けていきました。前日に駅伝中止が決まり、

気持ちを切り替えマラソンの部のスタートです。校外から学校の中へ先頭の生徒が戻っていくと沸き上がる声援が外まで響いてきました。どの子も一生懸命力強く坂を駆け上がっていく背中を見て成長を感じ胸に熱くなるものがありました。この先も自分の目標に向かって走り抜いて下さい。



### 頑張りを感じたマラソン大会

二年生 保護者

師走とは思えない暖かな晴天の下、マラソン大会が行われました。インフルエンザの流行により駅伝の実施が見送られ、マラソン大会のみの開催でしたが、参加した生徒は誰もが一生懸命走っており、自分の力を出し切る姿に感動しました。

沿道では、応援する保護者に気づいてはにかむ様子に、中学生らしいなとほっこりしました。終盤で疲れてくる頃、保護者の応援もきつと子どもたちの力となったことと思います。

長距離を走るのが得意な子、苦手な子、様々かと思いますが、最後までベストを尽くして走り切るということ自体に大きな意味を感じます。この経験が子どもたちの今後の自信や成長に繋がることを願っています。

最後にこの大会運営が先生方やPTAの皆様など、多くの方のご尽力のお陰で行われたことに心より感謝申し上げます。



## マラソン大会

二年生 保護者

晴天に恵まれ少し暖かく感じた十二月十四日。張りつめた空気の中「パン」というピストルの音を合図に生徒達が軽快な音楽と共に一斉に走り出していました。スタート前、クラスや学年を超えて自分たちの番を待つ生徒達が大きな声で声援を送る姿が印象的かつ感動的でもありました。

今年はコロナが五類に移行し少し落ちついたと思った中インフルエンザが爆発的に流行し駅伝の部の成立困難、異例の全生徒マラソンの部のみの開催となり急なルール変更で不安のあった生徒もいたと思います。そんな不安なものともせず男女共二キロという距離を生徒達は様々な思いを胸に走り切った笑顔はとも自信や達成感で満ちあふれていました。マラソン大会を通じて精神力、忍耐力、達成感でより成長できた事と思います。

この経験を糧に生徒達それぞれの道を大きく羽ばたいて欲しいと願っています。生徒の健康面に配慮し無事に事故、怪我なく開催された事感謝しています。



### 一歩一歩前へ

三年生 保護者

日暮れが早くなり、東海中ジャージを着た子がランニングする姿を見かけるようになる、もう年末なのだと感じます。そんな十二月の風物詩であるマラソン大会、直前に駅伝の部が中止になってしまったものの、息を弾ませながら頑張り走り抜く子供たちの姿を見ることができました。沿道で応援する保護者の中をそれぞれ自分のペースで走り切る姿は、これからの進路に重なることもあります。まだまだ坂の途中、三学期からも望む未来に向けて一歩一歩を進めてほしいです。



# 各種大会記録

【第五十七回全国野生生物保護実績発表大会】

自然科学部 奨励賞

【愛知県アンサンブルコンテスト】

西三河地区大会

吹奏楽部 銀賞 木管八重奏

銀賞 金管八重奏

銀賞 打楽器四重奏

【全三河駅伝大会】

中学男子の部 第六位

## 合唱コンクール

合唱コンクール審査結果

一年 金賞 二組 明日へ

銀賞 三組 マイバラード

二年 金賞 二組 心の瞳

銀賞 四組 君とみた海

三年 金賞 一組 証

銀賞 三組 正解

## マラソン大会

マラソン個人の部ベスト5

一年男子の部

三組

四組

四組

一組

一年女子の部

三組

一組

二組

一組

二組

四組

二組

一組

三組

一組

三組

二組

四組

二組

三組

一組

四組

三組

二組

四組

一組

三組

二組

四組

一組

三組

二組



## 団体の部の結果

	1年	2年	3年
男子 優勝	4組	3組	3組
男子準優勝	3組	2組	2組
女子 優勝	3組	4組	3組
女子準優勝	1組	1組	2組
総合 優勝	3組	4組	3組
総合準優勝	1組	3組	2組

### 努力が報われたこと

二年四組

今回、がんばれた理由は三つあります。一、去年のマラソン大会で一位になれなかったこと。二、個人の夏の大会であと少しのタイムの差で県大会に行けなかったこと。三、西三河駅伝大会で県に行けなかったこと。個人で県大会に行けなかった時から走れるのか、考えながらやってきました。それから今回の校内マラソン大会の結果に結びついたと思います。このまま練習を続けて、来年のマラソン大会では、もっとタイムを縮めて一位をとりたいです。

### 三冠

三年三組

感謝の気持ちを忘れない  
一年三組  
スタートの直前、僕は緊張していましたが、楽しみでもありました。僕はマラソン大会までの間、駅伝部で走ったり、夜に自主練習で友達と走ったりしていました。少しきついと思うペースです。走りながら意識して走りまわりました。おかげで走るペースや体力が良かったので、スタート直前は楽しみという気持ちがありました。結果、一位を取ることができました。駅伝の練習も自主練習も友達や先生のおかげでがんばることができたので、感謝をしています。これからもがんばって走りたいと思います。

駅伝大会がなくなり、マラソン大会になってしまったことで仲間とたすきをつなぐことができなくなりました。しみじみを感じました。しかし、マラソン大会の最後には、クラスメイトと喜びをわかち合う瞬間がありました。クラスのみんなが自分の目標に向かってがんばったことがゴール後には感動と笑顔が広がっていました。その結果、男子優勝、女子優勝、男女総合優勝の三冠をとることができてとてもうれしかったです。中学校生活も残りわずかとなりました。残りの時間もみんなと楽しく過ごしたいと思います。

### 校内書き初め会

一月十日の始業式の日に書き初め大会を行いました。一年生は「温故知新」、二年生は「信念を貫く」、三年生は「希望に輝く春」と書きました。各学年の金賞・銀賞受賞者です。

#### 一年生金賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組

#### 一年生銀賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組



#### 二年生金賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組

#### 二年生銀賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組

#### 三年生金賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組

#### 三年生銀賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組

### 教育講演会

#### 演題「書とともに五十年」

一月十日、講師として書家の丹羽勁子様をお招きし、教育講演会が行われました。

「手元美人になりました」と、美しい字を書くポイントについて実技を通して教えていただきました。

そして、鉛筆も箸も手元美人で、社会に大きく羽ばたいてほしいと、東中生に温かい言葉をいただきました。



### やまなみ

教育随想

#### Why don't you? の精神で

第三学年主任

英語を使う欧米の方に抱く、一般的なイメージはどんなものが多いのだろう。陽気？豪快？日本の方が丁寧？

長年英語に触れてきて多くのフレーズと出会ってきたが、一番好きな言い回しがある。「Why don't you?」である。二年生の英語では「〜しようよ」という意味で習う。「Why don't you sing?」では「歌おうよ」という意味になる。

日本人に知られている、より有名なフレーズで言うところの「Let's〜」である。しかしこの「Why don't you?」を一語ずつ直訳すると「なぜあなたは〜しないの?」となる。なぜこれが、「〜しようよ」と意味になるのだろうか。

このフレーズには英語話者の他者を巻き込んで人と楽しむという気分の良さがある。「このお菓子美味しいよ。なんで食べないの?一緒に食べようよ」「サッカーって面白いよ。なんでやらないの?一緒にやろうよ」

東海中学校にはこんなにも素敵な仲間がたくさんいます。楽しいこと、嬉しいことをたくさん仲間で経験して分かち合ってください。

「Why don't you?」の精神で。